

どろり濃厚
ーセーガぶっかっ。



成人向
FOR ADULT ONLY

噂のiPS細胞で

おちんちんをつけたモモとかじゆ。
お互いの子宮に子種を注ぎ込みたいと
熱く勃起しきつたふたなりちんぽを
強く擦りあつて
腰をくねらせてしまいます…

「先輩…これ…すごいッすね…っ」

「ふふ…先輩の…私のよりも

太くて素敵っす…んっ」

「あ…っ…らモモいきなり擦り付け…るなあっ」

「ん…ふっす…い…熱い…っ

先っぽ…溶けちゃいそうっす…っ」

「あっああ…モモ…っ」

「うああ…っ…こ…こ…こ…っ…こんなに濡れちゃうんですね…っ

先輩のおちんちん…っ…とろとろでカワイイっす…っ」

「モ…モモのちんぽも…よだれだらだら垂らしてるくせに…

そんなに私のまんこを犯したいのか…っ」

「あたり前じゃないっすかあ…っ

先輩のおまんこじゅぶじゅぶ犯して…っ」

妊娠して貰う為におちんちんつけたんっすから…っ」

「ホントは私だけがつける苦

だったのに…っ…全く…んっ」

「だってえ…先輩にも妊娠して

貰いたかったんっす…

ダメ…っすか…っ」

「い…いや…そういう訳じゃないが…

でも…その…っ」

夜はいつも主導権を握られがちなかじゆ。
せめてつ…こむ側に立ちたかったようですが、
モモもおちんぽをつけてしまった為に
これからの夜が心配になってくるかじゆでした。



震えるちんぼの熱さに浮かされるように色々と妄想を膨らませてしまうモノ。学校でも大好きな先輩を気持ちよくさせられたら…なんてシチュも想像してしまいます。

「ふふ…先輩おちんちんが気持ちよくって堪らないみたいっすね…！そんなに気持ちいいなら今度私が教室でしゃぶってあげるっすよ…！」
「な…きよっ教室で…っ？」

「先輩おちんちんも敏感みたいっすから…きつと授業中なのに我慢し切れなくてザルメンびゅーびゅーぶちまけちゃうっすね…」
「も…妄想でもそんな破廉恥な真似許さないぞモノ…！」
「ふふ…先輩だっけ想像しちゃっておちんちんビクビク震えさせてるっすよ…？」
「ち…ちがう…っ！」
「それで…教室の皆にはれちゃって…一人へんたいさんの出来上がりっす…」
「それでも…私は先輩の傍にずっといますから…！」
「…お…お前ちよつと怖いぞモノ…っ！」

「そうっす…」

私が授業中消えたままで先輩のおちんちんをおしゃぶり…奉仕しちゃうっす…」

「お…おしゃぶり…」奉仕…っ？」

「そうっす…机の下で消えて…皆が居る傍で

先輩のおちんちんをフェラチオ…」

先輩のぶつといサオを横から吹くみたいに啜えて…

ぶにぶにの先っぽを優しくくにくに甘噛みしちゃって…」

敏感なカリを舌で唾液たっぶり

馴染ませながられろれろれろしちゃうっす…」

「う…っ！そ…そんな…っ！」

妄想で息を荒げるモノをちよつと危ない名と思いつつもそこまで自分を欲しがってくれる事は単純にうれしいかじゆでした。

お互いに精液を注ぎ込み
激しい絶頂に行きも絶え絶えの二人。
心地よい倦怠感の中体を重ね
舌を絡めあいます…。

「ん…ふ…はうう…」
「あ…ん…ん…ん…ん…」
「ふふ…これで…赤ちゃんできちゃってるっすかね…先輩…？」
「どうだろうな…一回だけでは確実ではないだろうしな…」
「それに日が合ってるかどうかも問題だし…」
「そうっすね…一回だけじゃ…まだまだっすよね…っ」
「(…)ら…ちんぽを擦り付けるな…っ」

「あは…っ！先輩のぶっといおちんぽ…
まだがちがちっすよ…」
「それは…そうだけど…もう…腰が…っ」
「私も…確かに腰…ヤバいっすけど…
でも…まだ全然足りないっす…」
「や…(…)らモモ…だめ…だめだ…っためえ…」
「先輩…ずっ…ずっ…ずっ…一緒に
気持ちよくなっていたいっす…」
先輩…っ」

少し勃起のとけかかったちんぽを擦り
柔らかな体同士を絡み合わせ…
整いかけてきた息を再び高めてしまふ二人。
快感に崩けた腰を立て直せないかじゆのおまんこに
勃起し直して来たちんぽをあてがうモモなのでした。
まだまだ夜は長いようです…

おしまい。

後書

えー

という事で今回はコピー誌も咲から、
ふたなりモモかじゅでしたー

おっぱいのエロさ具合では完全に
のどっちにやられてしまったのですが、
百合つぷる的にはモモかじゅが一番好きかも！

凛々しいかじゅがモモの真っ直ぐな愛情で
めろめろになっちゃうあたりが堪りませんね。
かじゅモモよりはモモかじゅが個人的にはしっくりきます。
もしくはモモ誘い受。
個人戦でも出番が多いといいなあ

しかしコピー誌は相変わらず突貫作業、
下描きの見直しクールタイムが取れずにデッサンがめためたです
もすこし一発で納得の行く線を引ける力を付けたいです…。
がんばろう。

さて次は冬、今度こそねこt…

2009/08/16 瀬浦沙悟 拝

-奥付-

誌名： 「どろり濃厚モモかじゅう。」

発行日： 2009年8月16日

発行者： 沙悟荘

瀬浦沙悟

印刷：コピー誌

発行者連絡先：

E-mail： ser@fx.sakura.ne.jp

HPURL： <http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/>

禁・無断転載・複製

どろり濃厚
モモかじゅう。